

# 男鹿みなと市民病院倫理委員会議事録

## 1. 院長あいさつ

## 2. 委員紹介

## 3. 委嘱状交付（学識経験者）

## 4. 正副委員長選出

5. 委員構成
- 委員長 松本敏江（診療部長）
  - 副委員長 古仲真（副薬局長）
  - 委員 小坂さおり（副看護部長）
  - 委員 仲村キミ（学識経験者）
  - 委員 佐藤哲彦（学識経験者）
  - 委員 杉山武（事務局長）
  - 委員 太田穰（経営企画室長補佐）

## 6. 男鹿みなと市民病院倫理委員会規定について

## 7. 審議案件

「手術不能又は再発乳癌を対象としたベバシズマブ+パクリタキセル治療による抹消神経障害に対する $\alpha$ -トコフェロール（ビタミンE）予防投与の有効性に関する臨床評価」

## 8. 審議内容

提案者から、秋田大学での臨床では症例が少なすぎるので、今後秋田県全体でもデータ収集による症例数を増やし、秋田県から $\alpha$ -トコフェロール（ビタミンE）予防投与の有効性を発信するというもの。

## 9 審議経過

委員から患者側の理解を得やすくするために、図表を用いるなどの工夫が必要との意見や、また緩和ケアやリスクマネジメントへの十分な配慮が必要との意見が出された。

説明を十分にとの指摘は秋田大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会でも出されており、当初条件付き承認となったが、後に改善され承認された経緯があり、改善後のやり方を当院が倣って行うことで、同様の進め方をしても問題はないと思われる。

また、平素から医師と患者間の信頼関係に基づいて治療がなされており、より心をこめて同治験も含め治療にあたることを確認した。

プライバシーの保護とインフォームド・コンセントの確実な実行で、より患者に貢献する治療法の確立に寄与することを目的に承認した。

## 10. 審議結果

承認